

コンパスの使い方

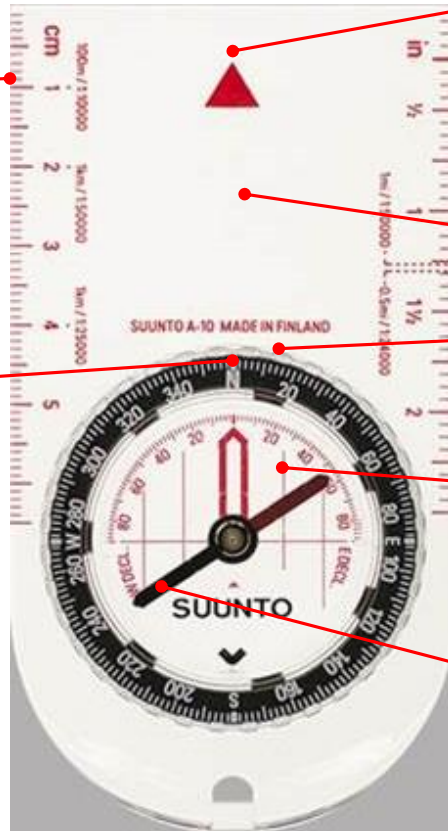
～コンパスの名称と取扱いの注意～

長辺

ベースプレートの長い辺

度数表示線

リングの下に引いてある線



進行線

ベースプレートの真ん中に
書いてある矢印

ベースプレート
透明なプレート

カプセル・リング

回せるようになっている
部分

ノースマーク

カプセル底面に書かれた
平行線

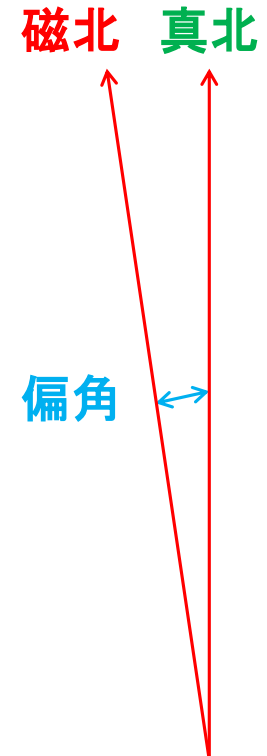
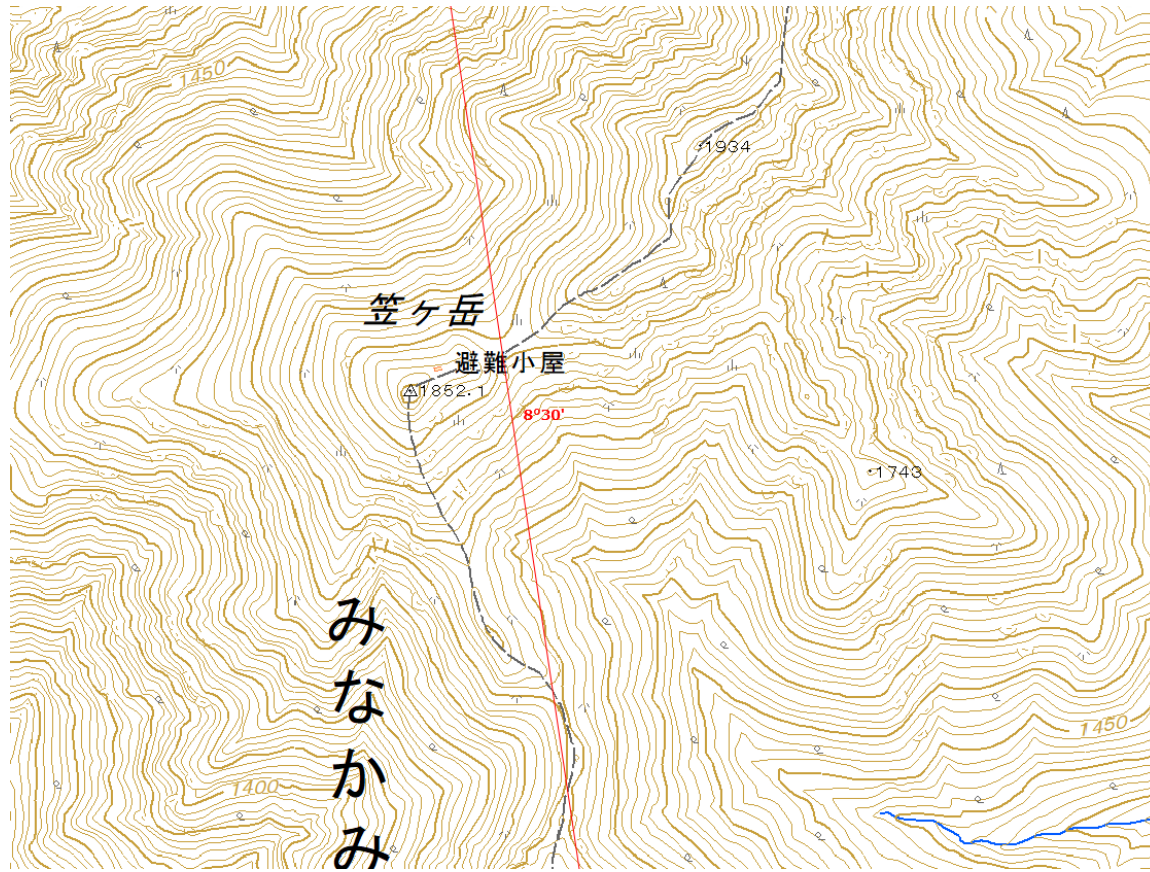
磁針

カプセルの中の針
赤い方が磁北を指す

コンパスの使い方

～地図の北と磁北線～

地図上の北(真北)と方位磁針の北(磁北)はずれている。



コンパスの使い方

～地図の整置～

地図上の磁北線の北とコンパスの磁針の北を一致させること。
目の前の景色と地図に描かれた情報が一致します。

- ①カプセルリングが
磁北線に重なるように、
コンパスを置く。
※プレートコンパスの向きは
無視して構いません。
- ②そのまま、磁北線と磁針が
平行になるまで地図を回す。
※南北の間違えに注意！



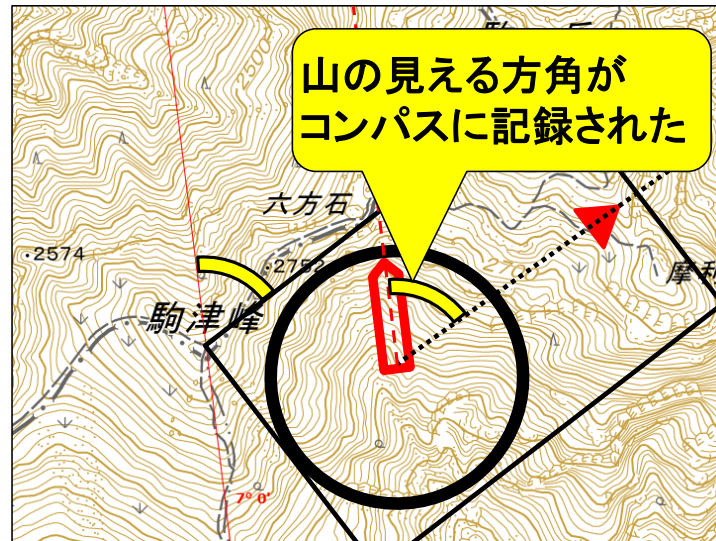
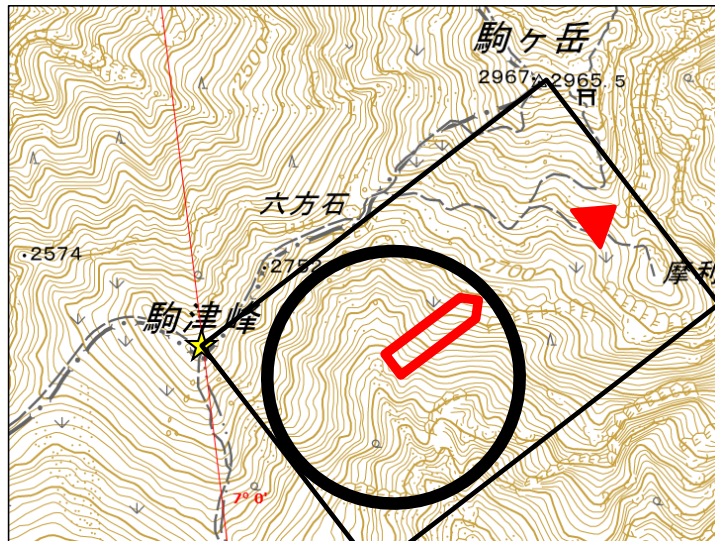
コンパスの使い方

～2. 地図情報から目標物が見える方角を調べる～

POINT

地図上の磁北線と現在地～目標物を結んだ線の角度を調べる。
現在地が分かっていることが必要。

- ① 地図上で現在地と目標物を
プレートコンパスの長辺で結ぶ。 ② ノースマークの向きを
磁北線の北へ向ける。



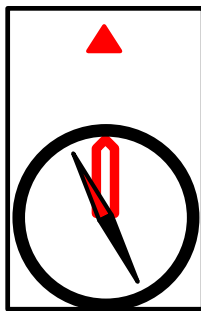
コンパスの使い方

～山座同定～

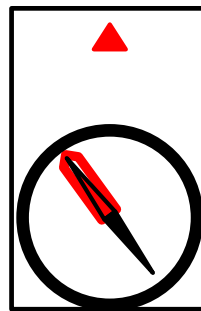
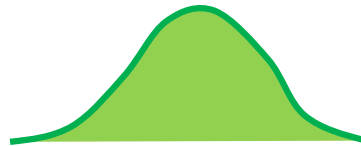
磁北と見えている向きの角度から山を特定すること。

現在地が分かっていると使えない。

① 調べたい山に
進行線を合わせる

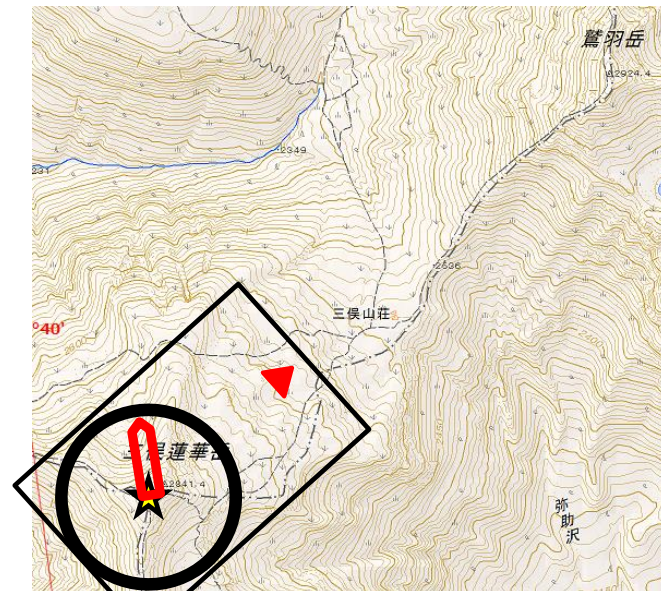


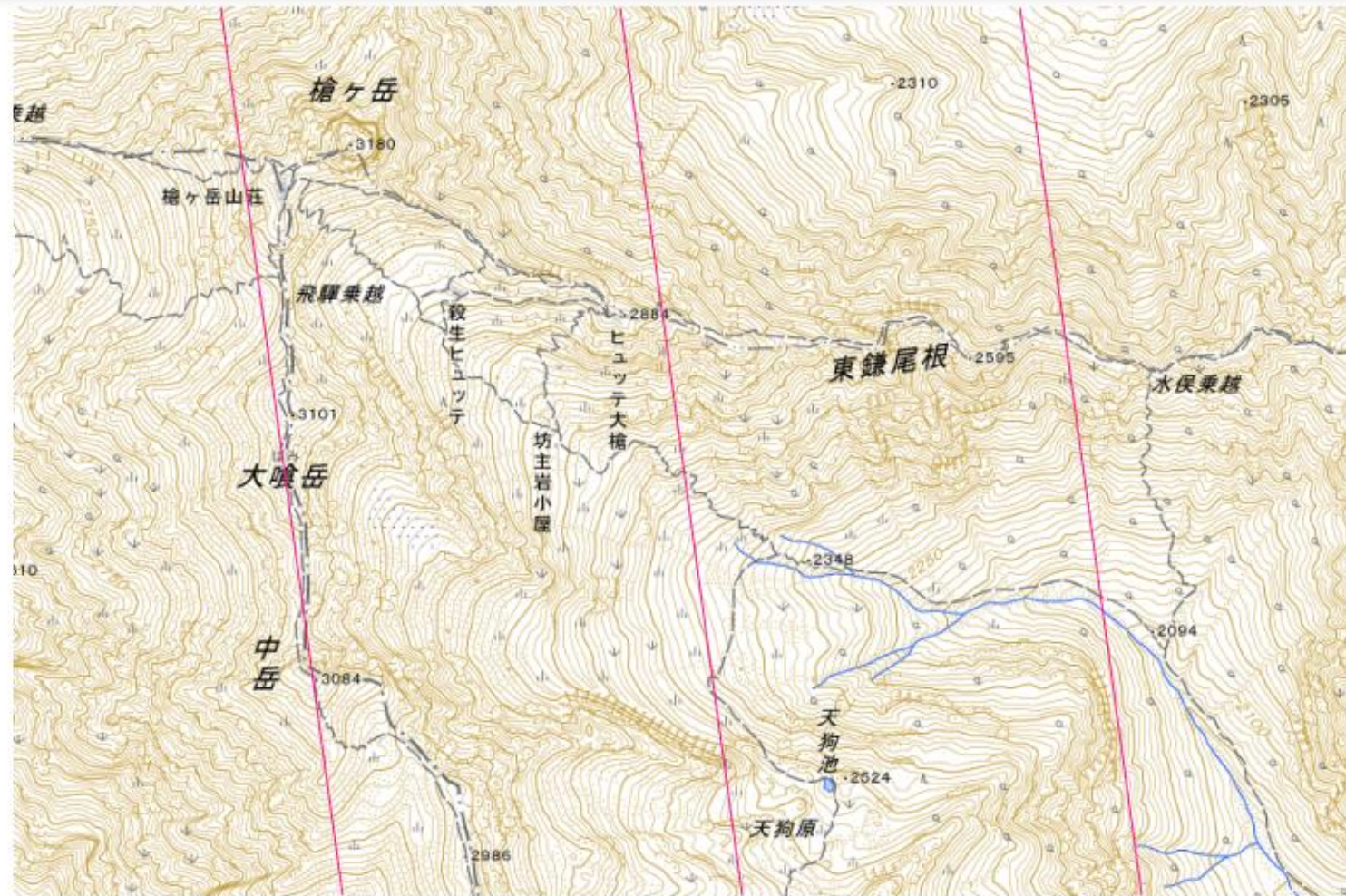
② 磁針の北とノース
マークを合わせる



③ 地形図上の現在地でノースマー
クと磁北線の北を合わせる

④ 進行線の先の山が目的の山





縮尺: 1 / 12,500

地理院タイル (国土地理院) を利用して作成

真北からの西偏角: 7°47.0'

